

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日	～	令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日	～	令和8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して通所できる環境づくりや、職員間のチーム連携による支援の実施、個別の発達や家庭の状況に応じた丁寧な対応ができている点が事業所の強みです。また、各種マニュアル整備や安全・災害訓練を実施するなど、安全管理にも十分に配慮しています。	活動プログラムの工夫(外遊び・分散) 安心・安全面の工夫(マニュアル・訓練) 個別対応の工夫(家庭状況に応じた対応)	今後は、保護者への定期的な面談や情報提供の機会をさらに充実させ、家庭支援を強化するとともに、きょうだい児への関わりや地域との交流の機会も拡大していく取り組みを進めたいと考えています。
2	活動面では、平日でも外遊びを取り入れるなど、子どもが飽きずに楽しめる工夫を行っています。	活動面では、平日でも外遊びを取り入れるなど、子どもが飽きずに楽しめる工夫を行っています。具体的には、平日でも公園等に出かけて運動遊びを実施しています。	今後は、外遊びの機会をさらに多様化し、季節や天候に応じた屋外・屋内活動の工夫を進めることで、子どもがより積極的に楽しめる活動環境を整えていきたいと考えています。
3	買い物体験や社会科見学などの活動を通して、子どもが実際に体験しながら自立に向けた力を身につけられる取り組みを進めています。	買い物体験や社会科見学では、実際に子どもが行動できるように事前に役割分担を決めたり、活動中に必要な支援を職員が適宜行うなど、子どもが主体的に取り組める工夫をしています。	今後は、買い物体験や社会科見学の機会をさらに増やし、活動内容や場面を多様化することで、子どもがより主体的に行動できる自立支援の充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	昨年度に管理者が変更となったため、現在は保護者との信頼関係をより一層深める取り組みが求められています。	管理者が昨年度変更となったことにより、保護者との関わりの機会が十分に確保できていないことや、信頼関係の構築に時間がかかることが課題の要因と考えられます。	管理者が保護者と丁寧に関わる時間を確保し、日々の連絡や面談、電話対応などを通して信頼関係を深める取り組みが必要です。また、保護者会やイベントへの参加機会を設けるなど、双方向の関わりを増やす工夫も進めていく必要があります。
2	事業所の入口に階段があるため、雨天時や子どもの安全面に注意が必要です。	事業所が2階に位置しており、入口に階段がある構造であることが要因です。雨天時や子どもが昇降する際に安全確保が必要となります。	雨天時の滑り止め対策を行うとともに、職員が付き添って安全に昇降できるよう配慮するなど、安全確保の工夫を継続して行う必要があります。
3	新人職員の育成やスキル向上の体制がまだ整備途中であるため、安定した支援提供の観点から改善の余地があります。	新しい職員が増えている中で、支援方法や業務の進め方を十分に共有する仕組みや研修体制がまだ整いつつある段階であることが、課題の要因と考えられます。	研修やOJTを通して、新人職員が業務や支援方法を理解しやすいようにサポートするとともに、先輩職員との定期的なフォロー面談を行い、スキル向上と支援の安定化を図る工夫が必要です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童デイサービスサンフラワー府中

公表日

令和8年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		定員時にはスペースが限られることもありますが、外遊びや活動の分散など工夫を行い、子どもが安全かつ快適に過ごせるよう配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	事業所が2階にあるため階段がありますが、滑り止めシールの設置や職員が階段下に付き添うなど、安全に配慮した対応を行っています。	事業所入り口に階段があるため、雨天時には注意が必要です
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		静養室を整備し、体調不良時などに安心して休める環境を整えています。また、横になって休めるようマットやタオルケットなども用意しています。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間で意見交換を行う機会を設けており、その内容を共有しながら業務改善につなげるよう努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		現在は第三者による外部評価は実施していませんが、今後必要に応じて検討していきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員の資質向上を図るため、強度行動障害支援者養成研修や虐待防止研修、身体拘束適正化研修、児童発達支援管理責任者研修などの研修を受講・実施する機会を設けています。	
適切 な 支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムを作成し、自社ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		放課後等デイサービス計画は、ガイドラインの5領域（本人支援・家族支援・移行支援・地域支援・地域連携）に沿って作成し、子どもの支援に必要な項目を設定した上で、具体的な支援内容を明確にし支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動プログラムの立案は、常勤・非常勤職員で意見交換を行いながら決定し、子どもが飽きず楽しめる内容となるよう工夫しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		職員間で意見を出し合いながら、子どもが抱きず楽しめる活動プログラムを立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前に職員間で打合せを行い、その日の支援内容や役割分担を確認しています。チームで連携しながら支援を行うよう努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		立川・高幡事業所ともしっかり交流ができればと思う
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日々の連絡帳や送迎時のやり取りを通して、子どもの様子や発達の状況について保護者と情報共有を行い、共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		放課後等デイサービス計画の作成にあたっては、子どもや保護者の意向を確認する機会を設け、子どもの最善の利益を考慮しながら支援内容を検討しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		保護者同士の交流の機会については、希望があった場合に応じて対応しています。また、きょうだい児についても必要に応じて関わりを持つなどの支援を行っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			活動概要や行事予定等については、月に一度のお手紙の配布やホームページを通して情報発信を行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を整備し、職員へ周知しています。また、発生を想定した訓練や災害体験等も実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え定期的に避難訓練等を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		安全計画を作成し、安全管理に関する研修や訓練を実施するなど、安全に配慮した支援を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			終礼ミーティングでその日にあったヒヤリハットを職員間で共有し、日誌にも記録しながら再発防止に向けた対応を検討しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			虐待防止のため、職員研修の機会を設けるなど適切な対応を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		身体拘束を行う場合については、組織として基準を定め、事前に子どもや保護者へ十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス サンフラワー府中

公表日 令和8年3月1日

利用児童数 36人

回収数 27枚

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	2		2	少ないと感じたことはない	現在の配置基準は満たしており概ね適切と考えていますが、利用児童の特性や活動内容によってはより丁寧な支援ができるよう職員同士で役割分担や連携を図っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2		7	外階段が危ないと思うがそれ以外は適切だと思う	外階段については安全面で注意が必要と感じるため、職員による見守りや声掛けを行い、安全確保に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	26	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2		1	子どもが不安定な時も情報を共有しながらたくさんアドバイスしてくれて助かっている	子どもが不安定な時は職員間で情報を共有しながら、状況に応じて助言や支援方法を伝えるよう心掛けています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1		2	子どもが好きなように様々なプログラムが組まれており成長発達につながっていると感じている	子どもが好きなように様々なプログラムを取り入れ、楽しみながら成長や発達につながるよう意識して支援を行っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	25	1		2	もう少しレジャー施設へのお出かけを増やしてほしい	レジャー施設への外出も実施していますが、夏休み期間は特に着せへの配慮から、室内活動や水遊びなどの活動が中心になることがあります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	2		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2	1	1	・毎日のプログラムを見るとあきない工夫がされていると思う・季節ごとに様々な活動を取り入れてくれている・最近は室内活動が多い気がする	子どもが飽きないよう日々のプログラムや季節に合わせた様々な活動を取り入れるよう心掛けています。最近は天候や安全面を考慮し、室内活動が多くなる場合もあります。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	13	8	・ご時世的に難しいのでは？と思う我が家はあまり求めていない・お出かけが多いのでそこでの活動でふれあいまではいなくても同じ場で過ごすことによりお互いに影響し合っていると思う	現在は特に実施していませんが、利用児童の状況やニーズを踏まえながら必要に応じて検討していきたいと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27			1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	3		2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	12	8	・個別に日々の活動を通して教えていただいているので特に不便を感じていない・家族支援の機会があると思う	日々の活動の中で個別に保護者へ様子をお伝えするよう心掛けています。今後は必要に応じて家族支援の機会についても検討していきたいと考えています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2	1		・毎日の連絡帳の他に気になったことや伝えておきたいことは話している・サービス担当者会議で共通理解できていると思う	日々の連絡帳でのやり取りに加え、必要に応じて保護者へ連絡をお伝えするよう心掛けています。また、サービス担当者会議等を通して関係者間での共通理解を図っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	12	2	2		全ての保護者に定期的な面談を実施できているわけではありませんが、日々の連絡帳や送迎時、電話等を通じて子育てに関する助言等の支援を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	3				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			5	14	9	特になくても不便を感じていない

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	4	1	1	子が不安定な時期に計画相談会議を開きたいと申し出た際、心よく参加して下さり助かった	子どもが不安定な時期には、必要に応じて計画相談会議への参加や情報共有を行い、関係機関と連携しながら支援できるよう心がけています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27		1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	5	2	7	この結果をまとめたものがどこかで見られるというアナウンスをもらった気もする	活動概要や自己評価の結果等については自社ホームページで発信しています。行事予定については毎月お手紙を配布し、保護者へ情報共有を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1		3		個人情報の取扱いには十分に注意し、職員間で適切に管理・共有するよう努めています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	4		6	時々訓練をしているようなので安心	非常災害に備え、5月と10月を強化月間として避難訓練を実施しています。また、それ以外の時期にも防災施設を利用した災害体験等を行い、防災意識の向上に努めています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	3		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1	1	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	1			・デイの日はいつもリズムズに登校できる ・母子ともに安心感をもって通所出来ています。	子どもが安心感を持って通所できるよう、職員との信頼関係づくりや安心できる環境づくりに配慮しながら支援を行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	1			・毎週とても楽しみにしている、サンフラワーの日は休みたくない！と言っている・予定表を見ながら楽しみにしている・職員の方に甘えることができ安心できる場となっている	子どもが通所日を楽しみにしている様子や、予定表を見ながら活動を心待ちにしている姿が見られます。職員に甘える様子もあり、安心して過ごせる場となるよう支援しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	2			・親も子ども内容、スタッフの方々の対応等とても満足している・誕生日にはとても素敵なカードがいただけ毎年楽しみにしている、色々な所に連れて行ってくれるので子どもも大満足です	子どもや保護者に満足していただけるよう、支援内容や職員の対応を大切にしています。また、誕生日カードの作成や外出活動などを取り入れ、子どもが楽しみを持って通所できるよう支援を行っています。